

かわぐち合唱団ニュース 3号 2016,10,19

「旅」の音取り、始まる。

10周年の曲が決まり、猛練習中。新曲の練習に燃えています。

- ① 「旅」の中の『旅立つ日』
- ② 「日本抒情歌曲集」の中の『かやのき山の』

(旅)の、成長した若者の旅立ち、様々な出会いと挫折を経て、再び未来に向かって歩み出す若者の姿は、私たちへの応援歌でもあると思います。

(かやの木山の)の歌は、白秋作詞と耕作のコンビによって作られた最盛期の絶品といわれ、耕作自身も、この曲が気に入っていたそうです。素朴で心温まる歌で、心が洗われます。これらの曲を練習できることを幸せを感じます。

10月12日の練習から

小島先生語録(練習中、何度も言ってもらっちゃいました。)

- ① 休符をきちんととること。
- ② 音程を正しく。
- ③ 音符の長さに、気を付けること。
- ④ 暗譜でいきましょう。



小島先生が、何度もおっしゃることを肝に銘じ練習に励みましょう。

団員のつぶやきコーナー(どしどしつぶやきをお寄せ下さい。待っています)

* 唱楽(ペンネーム)より;無手勝流

② 三重苦 リズム・音程・発声法 長い目で見てもいつかはきっと

② 先生の 鶴の一声 “暗譜です” ぼけストップの 愛のムチ

* どれも珠玉の名作!この川柳、私たちの気持ちにピッタリ!矢ヶ部先生、小島先生、ご苦勞を、お掛けします。おみすてなきよう、これからもよろしくお願ひします。

お便りコーナー

Tさんから、10周年のコンサートを
楽しみにしているとお手紙がありました。

かわぐち合唱団

代表 小川喜也

048-252-9737

